

1 地域の概要

○区域

登米地域は、旧登米郡の迫町、登米町、東和町、中田町、豊里町、米山町、石越町、南方町及び本吉郡津山町の9町が合併し、平成17年4月1日に誕生した登米市をその区域としています。

○地勢

登米地域は、県の北東部に位置し、東部は気仙沼市及び南三陸町に、西部は栗原市及び大崎市に、南部は石巻市及び涌谷町に、北部は岩手県一関市と7市町に接し、土地面積は約536km²で県土の約7.4%を占めています。東部に北上山系が連なり、西から南東に迫川が流れ、北上川に合流しています。これら2河川の流域に沿って広大な登米耕土が広がり、県内有数の穀倉地帯となっています。

○人口

令和5年4月1日現在の人口は、72,732人で県全体の約3.2%を占めています。県内での順位は、広域圏別では7圏域中第5位、市町村別では35市町村中第5位となっています。

(出典：令和5年宮城県推計人口(月報))

○気候

内陸性気候で令和4年の年間平均気温は12.2℃、年間降水量は1250.0mm、冬季は降水量が少なく、東北地方にあつては、住み良い気象条件にあります。

(観測地点：米山)

(出典：令和4年版宮城県統計年鑑2022)

○鉄道

JR東北本線が北西部の迫町と石越町を、JR気仙沼線が南部の豊里町と津山町を走っています。

○道路網

三陸沿岸道路が豊里町、登米町、中田町、東和町を縦貫しており、登米IC、登米東和IC、三滝堂ICと三滝堂PAが供用されています。

また、東北自動車道と三陸沿岸道路を結ぶみやぎ県北高速幹線道路が、令和3年度に全線供用開始されました。

一般道路は、国道45号、342号、346号、398号及び456号を中心として、主要地方道8路線及び一般県道15路線で形成されています。